



東京藝術大学大学美術館

THE UNIVERSITY ART MUSEUM,  
TOKYO UNIVERSITY OF THE ARTS

PRESS RELEASE



東京藝術大学大学美術館

藝大コレクション展 2018

—柴田是真明治宮殿天井画下図修復完成披露—

2018年10月2日（火）～2018年11月11日（日）



柴田是真《千種之間天井綴織下図》のうち6点

東京藝術大学大学美術館（東京・上野公園）は、2018年10月2日（火）から11月11日（日）まで、「藝大コレクション展 2018」を開催いたします。

東京藝術大学のコレクションは、前身である東京美術学校の開校に先立って開始された芸術作品・資料の収集にはじまります。以来130年間、学生たちの学びに役立つものを、という収集方針のもと、約30,000件にも及ぶ様々な分野の作品がコレクションされてきました。その中には、「制作の過程が見えるように」、また「作家の試行錯誤の跡が伝わるように」という考えから、下図やスケッチブックなども多く含まれています。

藝大コレクション展2018では、コレクションを代表する名品に加えて、下図やスケッチ、関連作と、完成作品とを並べて展示し、ときに作家の言葉を読みながら鑑賞していただくことを試みます。

また、本展の大きな目玉として、2017年度の東京藝術大学クラウドファンディング事業で修復費用を募った、柴田是真作の明治宮殿千種之間天井画下図の修復完成のお披露目を行います。ほころびや破れが手当され、一層美しくなった是真の草花図の数々を存分に堪能していただく機会となります。

### 【見どころ1 藝大コレクションを代表する作品】

曾我蕭白《群仙図屏風》、高橋由一《花魁》、原田直次郎《靴屋の親爺》（重要文化財）、小堀鞆音《経政詣竹生島》、青木繁《黄泉比良坂》、沼田一雅《猿》など、藝大コレクションを代表する作品を展示します。

近年大規模な回顧展が開催されて、注目の高まっている原田直次郎は、ドイツに留学し、アカデミックな絵画の技術を身につけました。代表作である《靴屋の親爺》は、圧倒的な描写力で見るとものに写実を超えた絵画の力を突きつけます。青木繁の《黄泉比良坂》は、イザナミとイザナギの有名な神話をもとにした作品で、画面右上の光に満ちた空間は、醜女の追ってくる恐ろしい黄泉の国を抜けてたどり着いた現世です。沼田一雅の《猿》は今年度、保存修復工芸研究室でクリーニングされ、磁器ならではの滑らかな白さを取り戻しました。



原田直次郎《靴屋の親爺》  
カンヴァス・油彩  
1886年 重要文化財



青木繁《黄泉比良坂》  
紙・色鉛筆・パステル・  
水彩 1903年



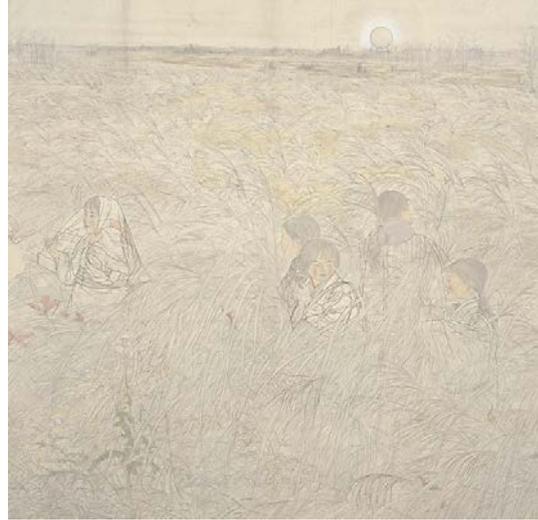
沼田一雅《猿》  
磁器  
1905年

## [見どころ2 制作の痕跡、作家の言葉]

下図やスケッチ、写生帖や書簡などの資料類が多いのも藝大コレクションの特徴です。本展では、それらを完成作品とならべて展示することで、作者の手の動きを追体験し、心の動きに肉薄する展示を試みます。



杉山寧《野》  
紙本彩色 1933年



杉山寧《野》大下図  
紙本彩色 1933年



「抽象画は、一種の謎解き絵画だと思う。鑑賞者の感性で、かけられた謎を解いてほしい。謎かけ師と解答者の真剣勝負だよ」

久保克彦《図案対象》 5点組のうち第3面 紙・彩色・コラージュ  
1942年



「初期ルネッサンスのフレスコ画は、日本画の顔料や技法と共通点が多い。(略)背景にある青い色は日本画の群青を塗るとぴったりと一致したのに、嬉しい思い出がある。」

平山郁夫《聖母子像部分》  
紙本彩色 1973年

### 【見どころ3 柴田是真作明治宮殿千種之間天井綴織下図修復完成披露】

東京藝術大学クラウドファンディング事業により、ご支援いただいた修復費用は、3,569,000 円に及びました。たくさんの方のご支援により、無事修復事業を完了し、お披露目の運びとなりましたことをご報告するとともに、一層美しくなった是真の草花図の数々を存分に堪能していただく機会となります。

1メートルほどの円のなかに流れるような筆さばきで描かれた四季の花々は、手控えでありながら、是真の類まれな筆力と構成力を示すものです。また、豪華絢爛かつ繊細優美な明治宮殿の絵画と工芸の輝きをつぶさに感じることできる類例のない作品です。

本展示では、柴田是真の写生帖や《師承過去帖》もあわせて展示いたします。



柴田是真《写生帖》のうち

#### 開催概要

- 展覧会名称：藝大コレクション展 2018
- 会期：2018年10月2日（火）～2018年11月11日（日）
- 休館日：毎週月曜日（10月8日は開館）、10月9日
- 会場：東京藝術大学大学美術館 展示室1  
（〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8）
- 交通案内：JR 上野駅公園口、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩 10 分  
京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩 15 分  
駐車場はございませんので、お車でのご来館はお控えください
- 開館時間：午前 10 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
- 観覧料：一般 430 円（320 円）、大学生 110 円（60 円）  
\* 高校生以下及び 18 歳未満は無料 \*（ ）は 20 名以上の団体料金  
\* 団体観覧者 20 名につき 1 名の引率者は無料  
\* 障害者手帳をお持ちの方（介護者 1 名を含む）は無料
- 主催：東京藝術大学
- 助成：藝大フレンズ賛助金
- 問い合わせ先：03-5777-8600（ハローダイヤル）
- ホームページ： <https://www.geidai.ac.jp/museum/>

## 藝大コレクション展 2018 広報用画像データ申込書

貴社名： \_\_\_\_\_ 媒体名： \_\_\_\_\_  
ご担当者名： \_\_\_\_\_ 発行予定日： \_\_\_\_\_  
電話： \_\_\_\_\_ 発行部数： \_\_\_\_\_  
fax： \_\_\_\_\_ 定価： \_\_\_\_\_  
Email： \_\_\_\_\_ 掲載予定コーナー名等： \_\_\_\_\_

画像の掲載サイズ (例：5cm 四方など)： \_\_\_\_\_

【貸出画像・キャプション一覧】 \* ご希望のデータの番号に○をつけてください。

- ①原田直次郎《靴屋の親爺》 カンヴァス・油彩 1886年 重要文化財
- ②沼田一雅《猿》 磁器 1905年
- ③久保克彦《凶案対象》5点組のうち第3面 紙・彩色・コラージュ 1942年
- ④柴田是真《千種之間天井綴織下図》112枚のうち桔梗・吾亦香 紙・彩色 1887年
- ⑤柴田是真《千種之間天井綴織下図》112枚のうち向日葵 紙・彩色 1887年



①



②



④



③



⑤

### 【画像使用に際してのご注意】

◆本展広報目的でのご使用に限ります (本展会期終了まで)。◆展覧会名、会期、会場名、クレジットは必ず掲載してください。◆作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・改変はできません。(応相談) ◆再放送、転載など2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。◆基本情報、図版掲載の確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で美術館広報担当までお送りいただきますようお願いいたします。◆掲載、放送後は必ず、掲載誌、同録テープを、美術館広報担当まで一部お送り願います。

○展覧会についてのお問い合わせ、画像借用のお申し込みは下記までお願いいたします。

広報担当 加藤 Tel: 050-5525-2438 Fax: 03-5685-7805

展覧会担当 岡本 Tel: 050-5525-2448 Fax: 03-5685-7692